



たいしゃくししゅう  
**広島県指定天然記念物「帝釈始終のコナラ」の後継樹が里帰り**  
りんぼく  
ー林木遺伝子銀行110番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組ー

ポイント

国内最大級のコナラで広島県指定天然記念物である「<sup>たいしゃくししゅう</sup>帝釈始終のコナラ」の後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所<sup>りんぼく</sup>林木育種センター関西育種場から里帰りします。

概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業では、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を行うとともに、事業の一環として、要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行110番」を行っています。

今回は、広島県庄原市から増殖の要請を受けた「帝釈始終のコナラ」について、つぎ木によって増殖して育てた後継樹の苗木が里帰りします。

- 里帰り日時 令和5年3月15日（水） 11時00分～
- 里帰り場所 帝釈自治振興センター（広島県庄原市東城町帝釈未渡2021）
- 里帰りする苗木本数 つぎ木増殖苗 3本

問い合わせ先

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター  
関西育種場（平日 8:30～17:15）

事業責任者：遺伝資源管理課 課長 <sup>たけだ のぶあき</sup> 竹田 宣明  
担当者： 収集管理係 <sup>たけなか たくま</sup> 竹中 拓馬  
広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 <sup>はやし かつひろ</sup> 林 勝洋

Tel : 0868-38-5138 Fax: 0868-38-5139

本資料は、広島県政記者クラブに配布しています。

## 背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、林木育種センター<sup>りんぼく</sup>では、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹を増殖し、里帰りを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 320 件の要請があり、243 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました（令和 3 年度末現在）。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内容

コナラは全国に広く分布し、昔から薪炭材やシイタケ栽培等に利用されてきています。その中でも、広島県庄原市に所在する「帝釈始終のコナラ」は、樹高約 30m、幹の周囲長が約 7.4m と国内最大級を誇る大木で、広島県指定天然記念物となっています。

しかしながら、周囲の樹木にカシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により枯死してしまう「ナラ枯れ」が発生していたため、今後被害が広がることにより、「帝釈始終のコナラ」は、その存続が危ぶまれていました。

このため、庄原市教育委員会から関西育種場に対し、「帝釈始終のコナラ」の後継樹の増殖依頼がありました。関西育種場でつぎ木を実施した結果、10 本の苗木増殖に成功しました。その後苗木は順調に生育し、屋外に植栽しても生育できる見込みとなったことから、このうち 3 本の苗木が、この度、庄原市に里帰りすることになりました。

## 図、表、写真等



「帝釈始終のコナラ」の親木



里帰りする苗木